

# ヒューマンケア演習

[演習] 第1学年 後期 必修 1単位

【担当者名】 宮本雅央 m-miyamoto@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋由紀 池森康裕(デ) 鈴木真人 片山寛信

## 【概要】

夏季休暇中に訪問した学外の施設・団体における実践や活動に触れた体験を基に、ケアの多面的な意味を理解する。また、前期からの学習を通して、自らの関心に沿ったケアの学びの方向性を明確にすることを旨とする。

## 【学修目標】

1. 学外見学や体験を通して、ケアの現場にある具体的な課題や工夫を理解し、一連の学習成果を言語化できる。
2. 自分自身が関心を持つ「ケアの領域」を見出し、将来の学びのテーマを構想できる。
3. ディスカッションや発表を通して、他者と協働して考えを深め、表現する力を身に付ける。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	学外見学・体験	ケアの現場で実践を理解する 知識、技術、価値感を理解する	宮本、高橋、池森、鈴木、片山
2	学外見学・体験	ケアの現場で実践を理解する 知識、技術、価値感を理解する	宮本、高橋、池森、鈴木、片山
3	ガイダンス	前期から後期への学びのつながりを確認する	宮本、高橋、池森、鈴木、片山
4	見学・体験の共有 (A)	グループワーク 個人レベルでの感想・気づきの共有	宮本
	見学・体験の共有 (B)	グループワーク 個人レベルでの感想・気づきの共有	高橋
	見学・体験の共有 (C)	グループワーク 個人レベルでの感想・気づきの共有	池森
	見学・体験の共有 (D)	グループワーク 個人レベルでの感想・気づきの共有	鈴木
	見学・体験の共有 (E)	グループワーク 個人レベルでの感想・気づきの共有	片山
5	見学・体験の共有 (A)	グループワーク チームでの体験比較・ディスカッション	宮本
	見学・体験の共有 (B)	グループワーク チームでの体験比較・ディスカッション	高橋
	見学・体験の共有 (C)	グループワーク チームでの体験比較・ディスカッション	池森
	見学・体験の共有 (D)	グループワーク チームでの体験比較・ディスカッション	鈴木
	見学・体験の共有 (E)	グループワーク チームでの体験比較・ディスカッション	片山
6	報告会準備 (A)	グループワーク 報告に向けた整理(事実と学びの明確化)	宮本
	報告会準備 (B)	グループワーク 報告に向けた整理(事実と学びの明確化)	高橋
	報告会準備 (C)	グループワーク 報告に向けた整理(事実と学びの明確化)	池森
	報告会準備 (D)	グループワーク 報告に向けた整理(事実と学びの明確化)	鈴木
	報告会準備 (E)	グループワーク 報告に向けた整理(事実と学びの明確化)	片山
7	報告会準備	グループワーク	宮本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	(A)	報告内容の構成(文献との照合)	
	報告会準備 (B)	グループワーク 報告内容の構成(文献との照合)	高橋
	報告会準備 (C)	グループワーク 報告内容の構成(文献との照合)	池森
	報告会準備 (D)	グループワーク 報告内容の構成(文献との照合)	鈴木
	報告会準備 (E)	グループワーク 報告内容の構成(文献との照合)	片山
8	報告会準備 (A)	グループワーク 報告内容の精査	宮本
	報告会準備 (B)	グループワーク 報告内容の精査	高橋
	報告会準備 (C)	グループワーク 報告内容の精査	池森
	報告会準備 (D)	グループワーク 報告内容の精査	鈴木
	報告会準備 (E)	グループワーク 報告内容の精査	片山
9	報告会準備 (A)	グループワーク 報告資料作成	宮本
	報告会準備 (B)	グループワーク 報告資料作成	高橋
	報告会準備 (C)	グループワーク 報告資料作成	池森
	報告会準備 (D)	グループワーク 報告資料作成	鈴木
	報告会準備 (E)	グループワーク 報告資料作成	片山
10	全体報告会	前半グループ発表と質疑応答	宮本, 高橋, 池森, 鈴木, 片山
11	全体報告会	後半グループ発表と質疑応答	宮本, 高橋, 池森, 鈴木, 片山
12	振り返り (A)	グループワーク 各発表を通じたケアの共通点, 多様性の整理	宮本
	振り返り (B)	グループワーク 各発表を通じたケアの共通点, 多様性の整理	高橋
	振り返り (C)	グループワーク 各発表を通じたケアの共通点, 多様性の整理	池森
	振り返り (D)	グループワーク 各発表を通じたケアの共通点, 多様性の整理	鈴木
	振り返り (E)	グループワーク 各発表を通じたケアの共通点, 多様性の整理	片山
13	振り返り	自分が学んだケアの視点の確認, 可視化	宮本
14	グループでのまとめ (A)	グループワーク 自分のケアを描く(関心領域の可視化) 「ケアのこれから」に関するディスカッション	宮本
	グループでのまとめ (B)	グループワーク 自分のケアを描く(関心領域の可視化) 「ケアのこれから」に関するディスカッション	高橋
	グループでのまとめ (C)	グループワーク 自分のケアを描く(関心領域の可視化)	池森

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		「ケアのこれから」に関するディスカッション	
	グループでのまとめ (D)	グループワーク 自分のケアを描く(関心領域の可視化) 「ケアのこれから」に関するディスカッション	鈴木
	グループでのまとめ (E)	グループワーク 自分のケアを描く(関心領域の可視化) 「ケアのこれから」に関するディスカッション	片山
15	総括	授業全体の振り返り 最終レポート	宮本, 高橋, 池森, 鈴木, 片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

報告: 報告会プレゼン内容, 資料の内容, 参加度 50%

最終レポート: 見学での体験からの学び, 将来の学びのテーマ設定 50%

【学修の準備】

授業に関連する用語や制度について調べる。(予習60分)

授業で取り上げた実践現場や関連する用語について復習する。(復習60分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

高橋由紀(介護福祉士), 池森康裕(介護福祉士・社会福祉士), 鈴木真人(看護師), 片山寛信(社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

介護や看護, ソーシャルワークに関する実務経験を活かした実践的な教育を行う。